

# 事業継続計画（BCP）で地域をささえる建設企業

- 三浦房紀氏 山口大学名誉教授
- 渡辺普介氏 株式会社カザケン 代表取締役社長
- 難波 誠氏 馬野建設株式会社 常務取締役
- 古江早苗氏 天野産業株式会社 B C M推進チームリーダー
- 景山浩孝氏 中国地方整備局 総括防災調整官
  
- 磯打千雅子 香川大学地域強靱化研究センター特命准教授

# 事業継続計画（BCP）で地域をささえる建設企業

## パネルディスカッションの目的

### 【建設業におけるBCPの必要性】

気候変動の影響により極端な気象現象の増加 加えて南海トラフ地震の切迫性の高まりにより早期復旧・復興の実現に建設業への期待大 官民一体となった対応

### 【論点1 各組織におけるBCPの取り組み紹介】

平成28年10月地震、平成30年7月豪雨災害における対応、BCPの作成経緯、認定制度、行政の支援の現状

### 【論点2 地域を支える建設企業としての視点】

自社目線のBCPだけでなく、地域に何ができるのか BCPで特に意識している点は？  
1社だけでは困難な取り組みも連携することで可能となる 地域を守る建設企業として  
企業間連携の発展を期待

## 【論点1 各組織におけるBCPの取り組み紹介】

- **景山さんBCP認定制度 (H24)** : インフラや生活道路の早期復旧について国交省と地域建設業が**官民一体となった連携**の必要性 ①従業員を守る ②**企業存続**

- 取組を始めてから感じた変化、効果、聞かれる声 : BCPのきっかけとして「地域での信頼」「地域も大切と一体として活動をしている」個々の企業がBCPを策定している。次のステップは連携。
- 認定企業の位置の片寄り、位置を可視化することで見えてくるものもある

- **渡辺さん平成30年7月豪雨** : 本社が浸水し使用不能→総社市の支店に**出勤指示 (代替拠点)** 社内行事で**社員は半分** (それでも半分は待機) 3階に出張者が寝泊まりしており逃げ遅れ クラウドのデータ、リソース確認 **「みんなで頑張っていこう！」** 水が引いてから2交代24時間体制 (2週間程度) 被災スタッフへ特別休暇と一時金支給 行政毎に担当者を決定かつ情報集約者も設定 飲料水・食料が真備町内がないので代替拠点から定期的に運搬 川辺小学校へ炊き出し **「地域のために頑張ってください」** 地域社会への貢献を実感 BCP通りには行かなかったが、計画のおかげですべきことはわかっていた

## 【論点1 各組織におけるBCPの取り組み紹介】

- **難波さん平成28年10月地震**：2013認定。初動で「BCP発動！」を思いついた。**瓦被害の問い合わせ多数→窓口の一本化（協会で情報集約）→詐欺事件の回避**にもつながる（周知は課題） 倉吉震度5強、琴浦震度5弱で被害の違いを認識 瓦屋根工事に対してブルーシートが備蓄では不足→資材は流通在庫備蓄を依頼 BCP策定していたことで手順はわかっていた。
- **古江さん地域建設企業としてのBCP**の取り組み：H24からBCPに着手（東日本大震災で上司が被災）、H27鳥インフル・H30豪雨の対応が迅速にできた（BCPのおかげで社員の意識高）新型コロナウイルス時はアンケート方式で教育→**取り組みは止めない！** なでしこパトロール・第3者視点での改善 **コミュニケーション**連絡ツールの改善・勉強中 トップダウンではじめてISOとからめてBCPを運用

## 【論点1 各組織におけるBCPの取り組み紹介】

- 三浦先生問題提起・今後の在り方：災害多発時代の到来・阪神淡路大震災以降活動期に突入→南海トラフへ2033？極端な気象による犠牲者の増加 BCPの必要性・地域建設業の活躍に期待大・備えが必要 災害死傷者をゼロに・ 中国地方の役割

# 事業継続計画（BCP）で地域をささえる建設企業

## パネルディスカッションの目的

### 【建設業におけるBCPの必要性】

気候変動の影響により極端な気象現象の増加 加えて南海トラフ地震の切迫性の高まりにより早期復旧・復興の実現に建設業への期待大 官民一体となった対応

### 【論点1 各組織におけるBCPの取り組み紹介】

平成28年10月地震、平成30年7月豪雨災害における対応、BCPの作成経緯、認定制度、行政の支援の現状

### 【論点2 地域を支える建設企業としての視点】

自社目線のBCPだけでなく、地域に何ができるのか BCPで特に意識している点は？  
1社だけでは困難な取り組みも連携することで可能となる 地域を守る建設企業として  
企業間連携の発展を期待

## 【論点2 地域を支える建設企業としての視点】

- **渡辺さん**：**地域住民へのケア** ピンチをチャンスに変える場として意識  
他の企業との連携として事前準備
- **難波さん**：単独I社対応だけでなく、協会等の団体で取り組む 報道が入るときには建設業の仕事は終わっている **アピールが重要** **地域とのコミュニケーション**
- **古江さん**：連携に躊躇→熊本地震に接して「**四国に守られている**」支援の重要性に気づきなでしこ連携に参加 **女性同士のコミュニケーション**が活きている
- **三浦先生**：認定企業を増やす（敷居を低くする工夫） **広報活動**に建設業協会・県との連携 **災害の特徴と中国地方だからできること** 家庭の防災
- **景山さん**：**総力戦**で挑む防災・減災 **BCPの周知**（手続き簡素化）

地域とのコミュニケーションの接点をどうもつのか、コミュニケーションをどうとるのか

→企業として何ができるか、だけでなく、どのような地域社会でありたいのか